

令和4年

2月13日(日)

18時30分より

オンライン配信

参加費無料

まちの「つながり」プロジェクト
これまでとこれからを描く



2020年10月にスタートした3カ年のプロジェクトもいよいよ折り返し地点にやってきました。コロナ禍の様々な制約がありながらも、仕掛け人とプロデューサーで試行錯誤しつつ、2年間で計8回の講演&トークセッションを開催してきました。1年目は実際に空き家を再生し、活用されている建築家の方々をお招きし、良質な先進事例について、2年目はまちの担い手をどのように育てていくか、実際にまちづくりに関わられているの方々をお招きし、住民のみなさんと学びながら、富士見町の価値を高めるエリアビジョンを作り上げてきました。

いよいよこれからが実践編！

その前にこれまでの振り返りをしながら、新しいフェーズに飛び立つ準備をしましょう。これまで見逃してしまった方、もう一度見たい方、何度でも見たい方、そして初めての方、どんな方でも大歓迎です！私たちと一緒に地域の拠点づくりを考え、実践していきましょう！

皆様のご参加をお待ちしております！

まちの「つながり」プロジェクト これまでとこれからを描く

当日スケジュール

1. オープニング:本事業の概要
2. これまでの1.5年を振り返る
3. これからの1.5年について語る
4. 質疑
5. クロージング:今後の予定について

お申し込み方法

事前予約制(2月10日(木) 17:00申込〆切)

2月13日開催『まちの「つながり」プロジェクト』

申込フォーム(Google Form / 外部リンク)



※1 先着100名。定員に達し次第締め切らせていただきます。

※2 申込フォームで申し込めない方は、
住宅課空き家施策担当までお電話ください。



地域連携コーディネーター

松元 俊介氏

前 調布市都市整備部住宅課
空き家施策担当係長

平成29年4月に新設された空き家施策担当として配属。新しい公共政策のあり方として、官民パートナー連携による取組を通じ、市民をはじめとした皆さんの関心と共感につながる計画策定と施策推進を試みています。

まちの「つながり」プロジェクト

まちづくりプロデューサー

調布市が任命した「まちづくりの専門家」です。大学教授と建築家2人のプロデューサーの連携により、地域住民の視点やまちづくりの提案、成功事例の紹介イベントやトークセッションなど、様々な提案を行います。



高橋 大輔氏

共立女子大学家政学部建築・
デザイン学科 教授 / 一級建築士 /
博士(工学)

国立小山工業高等専門学校建築学科助教授を経て2008年4月より現職。大田区をはじめ空き家を利活用した地域住民の居場所づくりの実践的研究を行う。主な著書に「小さなまちづくりのための空き家活用術」(2017, 建築資料研究社)、「通りからはじまるまちのデザイン(空き家活用術2)」(2019, 建築資料研究社)



菅原 大輔氏

建築家 / クリエイティブディレクター /
SUGAWARADAI SUKE 建築事務所
代表取締役 / FUJIMI LOUNGE 店長

早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日仏の設計事務所を経て、帰国後に事務所設立。「物語る風景」を目指し、まちづくりから建築、被災地支援まで分野を横断したデザインを行い、2019年からFUJIMI LOUNGEを運営。国内外30以上の受賞歴がある世界でも注目の建築事務所。

調布市空き家エリアリノベーション事業
まちの「つながり」プロジェクトの
最新情報はnoteでチェック!



https://note.com/chofu_areareno



LINE公式アカウント
調布市

スマイルのミライ
教えますナビ!

「空き家」の
やりたい事が
見えてくる

空き家の様々な「なぜ」を、相談と学びの2つの視点から、皆さんの疑問に答える便利ツール! まずは友達登録してください!



■主催



■協力

調布市空き家等対策推進協議会
社会福祉法人 調布市社会福祉協議会
共立女子大学
SUGAWARADAI SUKE 建築事務所株式会社

調布市の空き家事業に関するお問い合わせ
調布市住宅課 042-481-7817
9:00~17:00 (土・日・祝日休)
akiya@w2.city.chofu.tokyo.jp